

令和3年度文京区アカデミー推進協議会  
第2回分野別分科会（スポーツ分野） 概要記録

日時 令和3年7月21日（水）書面開催  
委員 青木和浩委員◎、井上充代委員、酒井宏委員、小西明子委員、水木優香委員、富田直美委員、堀正孝委員、山内豊委員（◎座長）  
幹事 川崎慎一郎アカデミー推進部スポーツ振興課長  
資料 資料1 スポーツ分野の現状と課題及び施策体系  
資料2 意見等記入様式（スポーツ）

議題

- (1) スポーツ分野の施策体系（案）について

以下、書面会議のため項目ごとにご意見を列記する。

- (1) スポーツ分野の施策体系（案）について

I. だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充

ご意見
<基本方針> ○基本的には、「スポーツをする・見る・支える」という機会を増やすというわかりやすい内容だと思います。 ○スポーツを行うにあたって身構えることなく、何々を行ってみたいと気持ちは持っていてもきっかけがないと入れない。入りづらい。きっかけ作りが最初必要。楽しそうやってみてみたいという気持ちを大切に興味を持ってもらう。
<施策> ○「する」機会の拡充にあたる部分が、少し弱いように感じます。

II. いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことが出来る環境づくり

ご意見
<基本方針> ○「I」との違いを明確にされても良いと思いました。「環境づくり」というのは、ハード面の充実なのか事業を増やすという意味なのか？事業を増やすという意味では、Iとの違いが必要に思います。 ○現状と課題の⑥新型コロナウイルス感染症への対応に関連した施策が、施策体系の中に盛り込まれていません。例えばですが、一項目「地域やコミュニティ単位でスポーツに親しむことができる環境づくり」のところに、「～スポーツに安全に親しむことが～」

### ご意見

と入れてみてはどうでしょうか。安全＝感染症対策＋ユニバーサルデザインの環境と捉え、両方を網羅できるような環境づくりを進めて欲しいです。

#### <施策>

- 「ウ」の内容と「I.ア」の内容の違い、「オ」は、基本方針のどこと紐づくのか？もう少し明確にされても良いと思います。
- 施策ウとヲは、基本方針からのつながりでは、Ⅲの分野に入れるのが適切のような気がします。
- 「オ 心身の健康づくり」は、もっと上位ではないでしょうか。心身が健康でないと、スポーツを楽しむこともコミュニティ作りも出来ませんので。
- 「ア 気軽にスポーツを楽しめる環境の整備」について。基本方針の意見でも述べた通り、現状と課題の項目⑥にも関連した施策を盛り込むためにも「気軽にスポーツを楽しむ安全な環境の整備」としてみてはいかがでしょうか。

### Ⅲ. スポーツの力を活用した地域づくり

### ご意見

#### <基本方針>

- 「地域づくり」となっているので、あまり個を対象とした方針ではなく、文京区（地域）がどうなりたいかという表現の方がわかりやすいと思います。  
「・区民一人ひとり～」「・スポーツに接する～」の内容は、I. IIと同じ内容に見える印象を持ちました。
- 心身の健康づくりといった観点から、例えばラジオ体操などは、地域活動に適していて、それをスポーツと括ると違和感があります。IIのヲをⅢに持ってきて、スポーツ以外の言葉で説明する必要があります。
- 三項目「スポーツに接する機会の～」の内容は、基本方針のIIに移動させるべきではないかと感じました。地域づくりよりも、心身の健康づくりに関する環境づくりの方がしっくりくる内容です。あるいは、「健康で生き生きと楽しく生活できる取組を～」から「健康で生き生きと楽しく生活できる地域づくりを～」としてみてはいかがでしょうか。
- 元々スポーツは無理、高齢だから出来ないと思っている人もいます。このコロナ禍で家から出ない。特に障害者や高齢者はスポーツ以前に体を動かす事すら少なく、その事によって足腰が弱くなり、より一層重度化が進む。寝たきりを防ぐためにも無理のない軽い運動が今必要不可欠だと思います。

#### <施策>

- 「オ」の内容と「I. 施策」内容が重なっているように思います。違いを明確にした方

ご意見

が良いと思います。

○施策の中で「ウ レガシーの継承と活用」とありますが、基本方針を読んでもレガシーが何を指すのか分からず、少々乱暴に言葉だけ突っ込んできたように感じました。現状と課題の④にあるように、「東京 2020 大会のレガシーとして得た「支える精神」や「国際理解」を、スポーツを通じた地域づくりに活かしていく」というような内容が、基本方針にも盛り込まれると分かりやすいのではないかと思います。

○家で出来る軽い運動のPR。動画の配信等。

その他

ご意見

○「Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の基本方針の内容が、何度も同じような内容となっており、もう少し、明確化された方がわかりやすいと思いました。「機会の拡充⇒ソフト面の充実?」「環境づくり⇒ハード面の整備?」「地域づくり⇒連携・協働?」という理解でしょうか？  
施策の内容は、基本方針に比べ、整理されている印象を持ちました。「する・見る・支える」という側面は「Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」すべてに関連されるという理解でよいでしょうか？  
「Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」と「する・見る・支える」の内容がより整理された表現だとわかりやすいと思います（大変難しいと思いますが）。

以上